

## 平成 24 年度事業計画

### 1 平成 24 年度活動方針

- (1) 分野ごとにより深い調査研究を進め、競争的資金獲得や産学官連携を通じて会員企業の技術力向上を図り、新分野進出を支援する。
- (2) 会員企業の技術力向上を図る方法として、大学・研究機関等のシーズ活用や共同研究を重点的に実施していく。
- (3) 食品機械製造等を行う会員企業と、食品加工等を行う会員企業の、それぞれの分野におけるニーズに応じた技術支援、情報提供を実施していく。
- (4) 食品機械製造分野においては、大規模な食品加工工場等のみにとらわれず、小規模工場や農協等などにおいても、農産物の選別・加工・貯蔵、食品の生産・検査・表示、廃棄物処理等、広く機械化ニーズ等を調査し、会員企業への情報提供を実施していく。
- (5) 食品加工分野においては、大手食品メーカーや外食産業などの大手企業等と交流を促進し、課題を引き出し会員企業の新規参入に繋げていく。
- (6) 情報提供で取り上げたテーマやニーズ調査の結果等に基づき、企業の要望などを踏まえ、必要に応じて更なる調査研究を進めるため、分科会の設置を検討する。

### 2 平成 24 年度事業計画

#### (1) 技術力向上

分科会活動を中心に情報共有や企業間交流を促進し、競争的資金獲得や産学官連携で技術力向上や新分野進出を支援する。

##### ア 米粉分科会

対象：米粉活用に携わる、食品加工及び関連事業者

①米粉の粉砕方法や銘柄等により異なる米粉食品の特性に係る研究や、製品開発にあたっての技術支援（食総研・工業技術センター等）

②開発製品の試食・アンケートの実施支援による消費者ニーズの把握と、新たな製品開発・改良等の支援

③県農林水産部及びその他の各種展示会等への出展等

時期：年 5 回程度

イ 「食品機械」をテーマに、ニーズ調査の結果や会員企業の意見を踏まえながら、必要に応じて分科会を設置し研究を進める。

ウ 「機能性食品」をテーマに、講演会のアンケート結果等、会員企業の意見を踏まえながら、必要に応じて分科会を設置し研究を進める。

#### (2) 情報提供（講演会など）

ア 冷凍技術等に関する講演会（主に食品機械製造分野対象）

a 期日：9月頃

b 内容：今後の省力化・冷凍技術の方向性について新たな情報や市場について解説する。

- イ 機能性食品の技術情報等の講演会（主に食品加工分野対象）
  - a 期日：8月頃
  - b 内容：食品の持つ機能性に着目し、素材を如何に活用し、新製品の開発や機能性食品に係るビジネス展開等について情報を提供する。
- ウ 工業技術センターの研究テーマに係る情報提供
  - a 期日：8月頃
  - b 講演：茨城県工業技術センター
  - c 内容：工業技術センターが取り組む食品分野における納豆菌や漬物香気成分の評価制御技術等に係る研究テーマについて情報を提供する。
- エ 食品残さ処理方策等、環境技術情報の講演会
  - a 期日：1月頃
  - b 内容：環境・新エネルギー研究会との共催。食品工場の各種残さの再利用、環境対策などの機械化技術を含めた情報を提供する。

### （3）大手企業等との交流

- ア ㈱波里（栃木県佐野市）（主に食品加工分野対象）
  - a 期日：7月11日（水）
  - b 選定理由：米粉製粉の大手。茨城県の学給米粉パンの米粉も供給中。米粉利用については独自のサイトで米粉使用製品の処方提案なども行っている。
  - c 内容：講演会、米粉製粉の工場及び米粉使用製品開発室の見学会等の実施。

### イ 食品加工機械製造企業

- a 期日：9月頃
- b 内容：産業用冷凍機器及び食品加工機械等製造ラインの見学等

### ウ 大手食品メーカー

- a 期日：11月
- b 内容：講演会及び製造ライン見学会等

### （4）ニーズ調査

- ア 食品加工工場や農協等における農産物の選別・加工・貯蔵、食品の生産・検査・表示、廃棄物処理等に係る機械化ニーズや、食品機械製造業者の課題等又は食品加工業者等の販路等について調査・把握し、機械製造等を手掛ける会員企業に情報を提供する。

- ・食品加工工場や農協、農業法人、学校給食組合、公共施設等を調査の対象候補として、会員企業が調査結果を十分活用できるよう、会員企業の意見を踏まえつつ調査を実施。
- ・ニーズ調査報告会の開催（10月頃中間報告予定）